

7 - 5 北陸 - 近畿および近畿 - 山陰地殻活動総合観測線における地殻変動連続観測結果 (2001年5月~2002年4月)

Results from Monitoring Chains of Crustal Activities in Kinki and Hokuriku District. (Preliminary Report ; May 1, 2001-April 30, 2002)

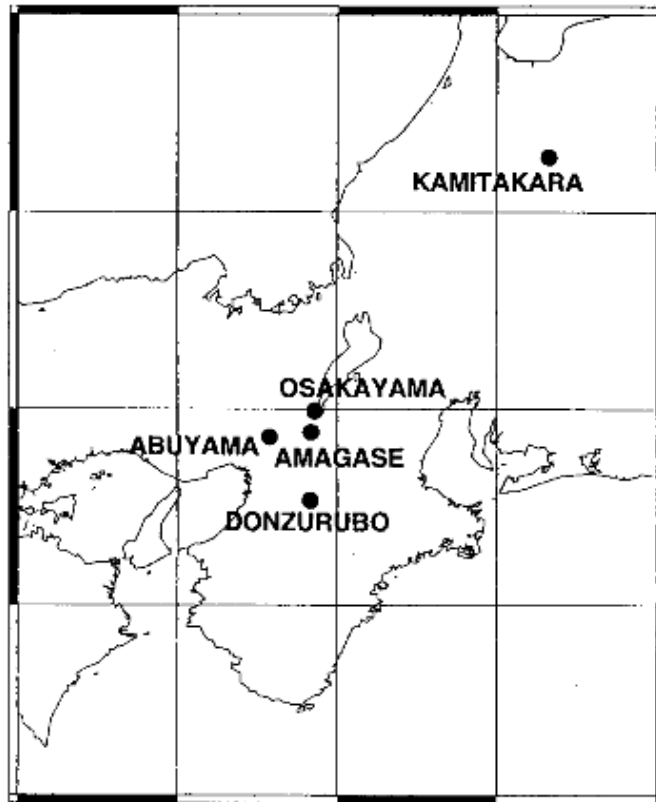
京都大学防災研究所 地震予知研究センター
Research Center for Earthquake Prediction,
Disaster Prevention Research Institute, Kyoto University

北陸 - 近畿および近畿 - 山陰の両地殻活動総合観測線を構成する観測点のうちから、第1図に示す上宝蔵柱、阿武山、逢坂山、天ヶ瀬、屯鶴峯の5点で観測された最近1年間(2001年5月~2002年4月)の地殻ひずみ変化と降水量を第2図から第4図に示す。上宝蔵柱では傾斜変化も、また逢坂山では観測坑道内の孔井で測定している地下水位を示す。プロット値は時間値であり、降水量は0時~24時の日雨量である。

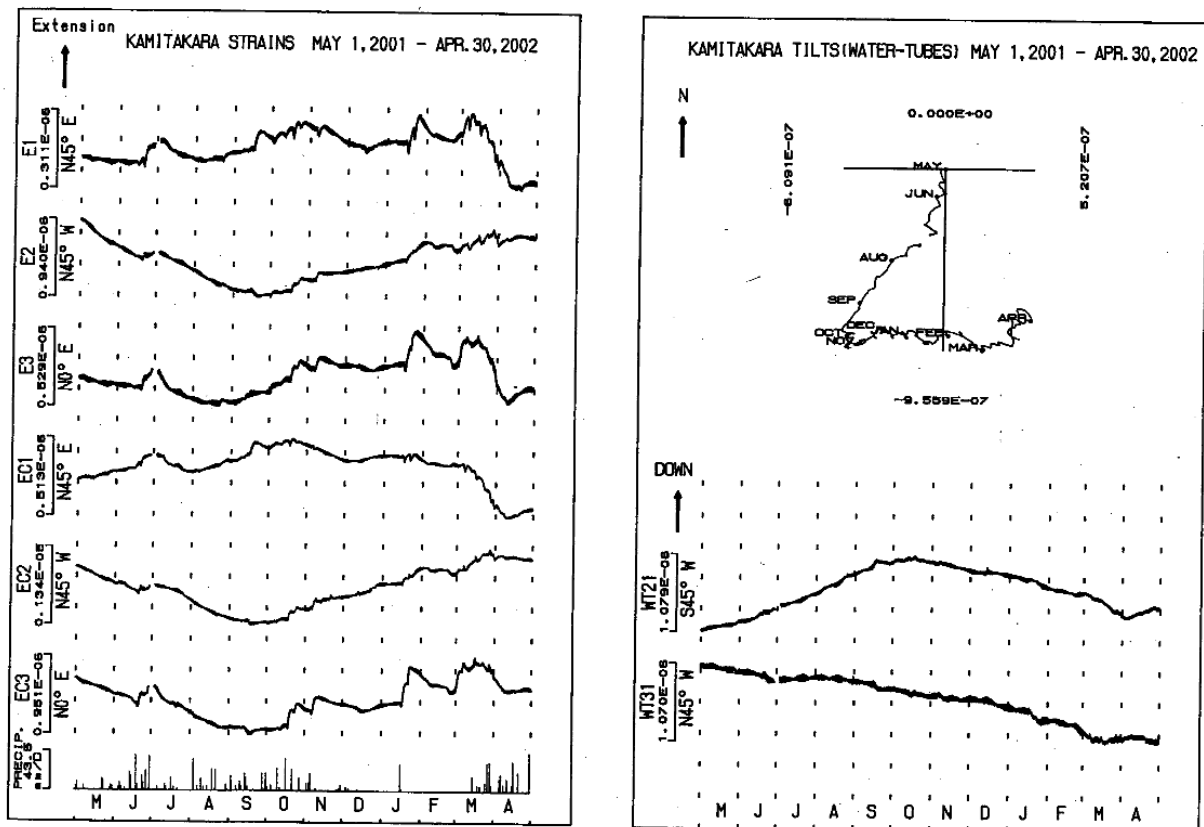
逢坂山では、2001年8月25日の京都市北部で発生したM=5.1の地震(震央距離25km)の際、10時間余で約10センチの水位低下が観測されるとともに、地震前に潮汐成分の位相が変化したことが報告されている(本号別稿に詳報)。2002年1月24日の水位低下には対応する地震は認められない。

天ヶ瀬各成分の10月半ばからの大きな変化は、たまたま雨量が欠測しているが、それぞれの変動の方向や近隣の逢坂山の雨量データを参照すると降雨によるものと考えられる。ほかの各観測点もそれぞれ固有の、主として降雨が原因の季節変化がドリフトに重畳している。

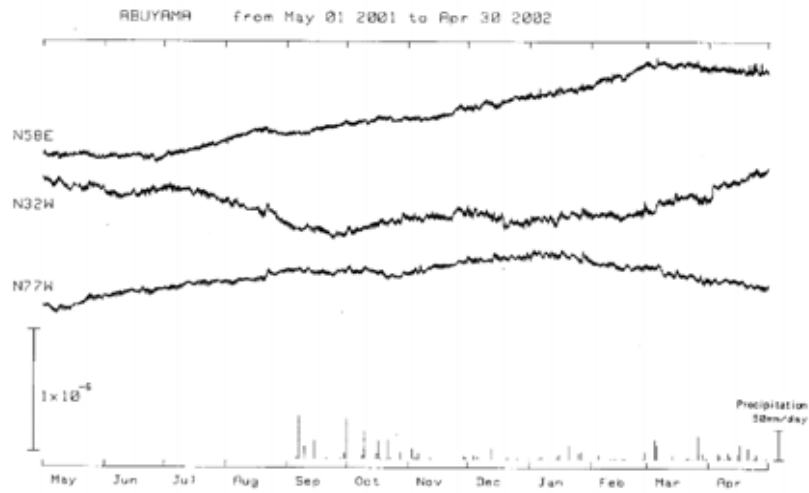
(大谷文夫)



第1図 観測点の位置図
Fig.1 Observation stations.

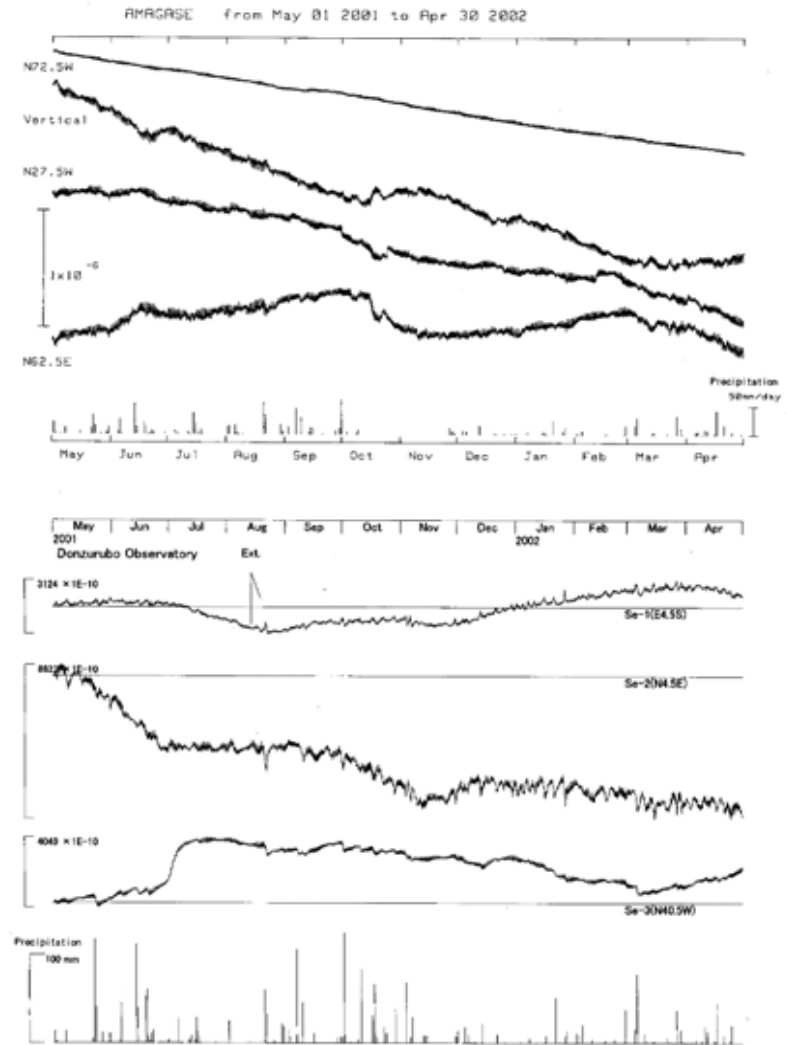


第2図 上宝観測所蔵柱観測室におけるひずみ・傾斜変化と日雨量(2001年5月~2002年4月)
Fig.2 Strain changes, tilt changes and daily precipitation at Kurabashira station of Kamitakara observatory. (May 1, 2001 - April 30, 2002)



第 3 図 阿武山観測所におけるひずみ変化、降水量と逢坂山観測所における地下水位、降水量 (2001 年 5 月 ~ 2002 年 4 月)

Fig.3 Strain changes and daily precipitation at Abuyama and Osakayama observatory. (May 1, 2001 - Apr 30, 2002)



第 4 図 天ヶ瀬観測室におけるひずみ変化、降水量と屯鶴峯観測所におけるひずみ変化、降水量 (2001 年 5 月 ~ 2002 年 4 月)

Fig.4 Strain changes and daily precipitation at Amagase and Donzurubo observatory. (May 1, 2001 - Apr 30, 2002)